



やまびこ館で発売した『**姫君** おうちだに 姉妹 吉岡温泉滞在日記』(樽谿叢書第1集)には、鳥取城主池田家の姫君姉妹が鳥取城から吉岡温泉(現在の鳥取市吉岡温泉町)に出かけた道中のことや、吉岡温泉滞在中に体験した様々な出来事が記されています。

もともとなった資料(原本)は鳥取県立図書館の『吉岡の日記』という上・下2巻からなる日記です。今から200年ほど昔、16歳の姉君みつ姫と14歳の妹君よう姫は2度にわたり吉岡の温泉へ湯治の旅に出かけましたが、その時に姫君に付き従ったのが日記の作者、**鷲見休明**という鳥取藩の武士です。鷲見は吉岡滞在中の姫君姉妹のことを中心に日々の出来事を書き記し、藩主池田家に献上しました。それが今日に伝えられたのです。



**おうちだに画報**  
池田家姫君姉妹  
吉岡温泉滞在日記  
の世界

泉への湯治滞在は、近い将来別々の大名家に襲入れすることを見通し、離ればなれになることを惜んでのことかも知れません。

日記の冒頭には鳥取城を早朝に出発し、吉岡に着くまでの道中の様子を記しています。姫君たちは乗り物(かご)に揺られ鹿野街道の別道をすすみました。徳尾村・島村などを經由して野坂村にある大塚屋敷(庄屋宅)で昼食をとり、およそ5・6時間かけて吉岡に到着しています。吉岡滞在中は付近の寺社を訪問したり、山からの眺望や湖山池で釣を楽しむ姿がえがかれています。詳しくは『姫君姉妹 吉岡温泉滞在日記』をご覧ください。

(鳥取市歴史博物館 やまびこ館)

『姫君姉妹 吉岡温泉滞在日記』

税込み 500円

■問い合わせ先 やまびこ館 上町88

☎ (0857) 23-2140



みつ姫 池田三津子 姉・16歳



殿様 池田齊邦 兄・18歳



よう姫 池田完子 妹・14歳

姫君たちの兄は、21歳でこの世を去った7代藩主池田齊邦です。3人は母親も殿様池田齊邦 兄・18歳と同じで仲睦まじかったと言います。姉妹は鳥取城で生まれ育ち、文化3年(1806)にそろって江戸の鳥取藩邸に引っ越します。結婚をひかえ適齢期に達すると江戸屋敷に移るのが慣わしでした。吉岡温